

スキー学習の構造

1. インストラクションサービスの位置づけと役割

スキー産業のなかでの位置づけ

現在のスキー環境を構成する基幹の産業分野

- ・場と施設を提供する業種
- ・用品用具を提供する業種
- ・付帯するサービスを提供する業種
 - スキー学校
 - クラブ活動
 - 指導活動を担当する分野全体

サービス分野としての役割

- ・顧客満足・・・一次的目標
- ・顧客創造・・・二次的目標

生涯スキーヤーの育成へと導いていくことが役割

- マネジメント技術
- 人間関係技術
- 指導技術

2. 良いスキー学習の構造

スキー学習の基本的な考え

- ・楽しさ
- ・生涯にわたって継続的にスキーに参加するスキーヤーを育てる

スキー指導のあり方

- ・学習を「支援する」姿勢が必要

スキー指導の目標と学習内容

- ・うまくなる
- ・仲間と協力して活動できる

スキーが好きになるように肯定的に働きかけるような技術指導や社会的行

動に対する指導

スキー学習の構造

- ・基礎的条件
 - 学習を効果的に円満に進めるための条件
- ・内容的条件
 - 学習を進めるうえでの計画と実施の中心となる条件

3. 良いスキー学習を実現するための基礎的条件

滑る時間が十分に確保されている

自主的に学ぶ姿勢ができています

指導者の肯定的な働きかけが見られる

学習者相互に肯定的関わり合いが見られる

自然に対する知識が与えられる